

分類	質問	回答
試す	本製品を借りて試すことができですか？	はい、できます。貸し出し期間は約2週間です。個別にご相談ください。
仕様	対応しているネットワーク帯域は？	1Gbpsです。
	どこに設置しますか？	お客様ネットワークの出口付近など、通信不良のパケットが流れそうなところに設置します。
	どのように設置しますか？	2本のネットワークケーブルでお客様のNW機器に接続していただきます。 ・1本目:ミラートラフィックの流入用 ・2本目:インターネット接続用(Proxy経由可)
	インターネットに出られない環境では使えないですか？	本製品は Azure OpenAI を利用する仕様のため、基本的にはインターネット接続が必要です。 インターネットに出られない環境でご利用されたい場合は、ローカルLLMの構築をご提案する個別対応となり、別途お時間をいただきます。
	使用しているLLMモデルは何ですか？	Azure OpenAI の GPT-4 系列モデルを使っています。
	本体内に何が保存されますか？	取り込んだミラートラフィックを加工したパケットログと、解析結果レポートが保存されます。容量上限に達すると古いものから削除されます。
	本製品は生成AIにどのような情報を送付しますか？	お客様の記入した質問と、パケットログの情報を送付します。生成AI側で再学習は行いません。
	既存通信を圧迫しませんか？	テキスト形式での通信のみですので、既存通信を圧迫しません。
設置	設置に必要な条件(スペース、電源)について教えてください。	本体サイズは、131mm×81mm×18.3mmです。排熱のため、周囲に余裕のある設置場所を推奨します。電源はAC100Vです。
できること	本製品はトラブルシューティング用ですか？	トラブルシューティングはもちろん、普段設置しておき、定常的にネットワークの状態をチェックする目的でも使えます。

分類	質問	回答
できること	ネットワークトラブルだけでなく、サーバや端末のトラブル解析もできますか？	できます。とりこむトラフィックに、当該機器のsyslog通信が含まれていれば、解析ができます。
	自分でログデータを生成AIに入力して質問するより、本製品を使った方が便利ですか？	本製品は、システムやアプリケーションログには出ないパケットレベルの通信不良を用いて分析するため、手動でログを入力するよりもより細かく、手間なく調べることができます。 また、専用の分析処理があらかじめ組み込まれているため、煩雑な前処理やプロンプト設計が不要で、手軽にご利用いただけます。
	WiFiの接続エラーも解析できますか？	該当する通信が流れる場所に、本製品を設置すれば解析できます。
	アプリレイヤに関する解析依頼はできますか？	アプリケーションが使用するサーバIPやポート番号を指定いただければ、該当通信のエラー有無を解析します。ただし、アプリ識別データベースは持たないため自動的な識別は行いません。
	異常の外部通知ができますか？	異常の外部通知はできません。必要に応じて利用者が問い合わせる方式です。
	リモートアクセスができますか？	本製品自体にはリモート接続機能はありません。接続ネットワーク内の踏み台PC等経由で、リモートアクセスをしてください。
契約	初回の契約について教えてください。	契約期間は1年間です。2年目以降は、1年間ごとの自動更新になります。
	問い合わせ対応サービスについて教えてください。	ご不明点をメールでお問い合わせいただけます。なお、生成AIの解析結果についてのご質問には対応しておりません。
	ソフトウェアのアップデート方法について教えてください。	本体を再起動した際にインターネット上の保守サーバを確認し、アップデートがある場合は自動的にソフトウェアを更新します。
サポート	ハードウェア保守サービスについて教えてください。	製品が壊れた？というときはご連絡ください。確認のうえで、代替品をお送りします。